

氏名	佐々木綾子
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 4071 号
学位授与の日付	平成22年 3月25日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科社会環境生命科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Is There Any Association between TV Viewing and Obesity in Preschool Children in Japan? (日本の就学前幼児においてテレビ視聴と肥満に何らかの 関係が存在するか?)
論文審査委員	教授 荻野景規 教授 大塚頌子 准教授 安井耕三

学位論文内容の要旨

子供の肥満が深刻な公衆衛生問題となっており、テレビ視聴も危険因子として考えられている。しかし日本ではその関係性に関わる研究がなされていないため、我々は日本の中山間地域で悉皆調査を行いテレビ視聴と肥満の関連を評価した。2008年2月、全616名の就学前幼児が対象とされ、自己記入式の調査票が送付された。テレビ視聴の時間を2カテゴリーに分け、2時間未満を対照としてロジスティック回帰分析で関連を評価した。調査票は77.3%にあたる476名から回収され、最終解析には449名のデータを用いた。そのうち26.9%の就学前幼児が一日2時間以上テレビ視聴すると答えており、8.2%が肥満に分類された。ロジスティック回帰分析では統計学有意な結果は調整前(OR=1.11, 95% CI: 0.50-2.49) 調整後 (OR=1.11, 95% CI: 0.50-2.51)ともに認められなかった。テレビ視聴と肥満の関連が有意でなかった理由としては、社会環境の影響、統計学パワー不足と、曝露の誤分類が考えられる。

論文審査結果の要旨

本研究は、岡山県の中山間地域のM町の母子保健計画策定事業から得た資料を用いて、子供の肥満とテレビ視聴の関連を評価した研究である。2008年2月、全616名の就学前幼児を対象とし、自己記入式の調査票により、テレビ視聴の時間を、一日2時間未満と2時間以上の2カテゴリーに分け、肥満との関係を検討した。476名に対する調査で、77.3%の回収率であった。一日2時間以上テレビ視聴する就学前幼児は26.9%であり、8.2%が肥満に分類された。テレビ視聴に2時間以上の曝露をうけている幼児は、2時間以下の曝露幼児に比し、毎日朝食を摂取していない傾向と、より頻繁にスナック菓子を摂取する傾向が認められた。しかしながら、ロジスティック回帰分析によるテレビ視聴曝露と肥満との関係は、統計調整前(OR=1.11, 95%CI: 0.50-2.49) 調整後(OR=1.11, 95%CI: 0.50-2.51)ともに認められなかった。以上より、本研究は、就学前幼児におけるテレビ視聴と肥満の関連を否定する結果を示したが、地域において、生活習慣と幼児の肥満の関連性に取り組んだものであり、公衆衛生的に価値あるものと評価された。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。

尚、本研究には、就学後の学童との比較や都市部の就学前幼児との比較、さらにもっと多くの社会環境因子との関連性の調査が必要であるとの意見があった。